

米国環境保護庁  
ワシントン.D.C.20460

大気放射局

2014年5月23日

ENERGY STAR®コンピュータ製造事業者もしくはその他の関係各位

米国環境保護庁(EPA)は、ENERGY STARコンピュータの試験方法バージョン6.1の草稿版に関する意見を歓迎する。

関係各位は、2014年6月13日までにEPAにコメントを提出すること。

ENERGY STARコンピュータのバージョン6.0の策定を通して、EPAは当該プログラムに対する数多くの項目を追加することを考えてきた。米国エネルギー省(DOE)は、ENERGY STARコンピュータ仕様書の策定に関し、スレート/タブレット装置及びツーインワンコンピュータを取り扱うために、ENERGY STARコンピュータの試験方法において、どのような変更を行うべきかを考察することで、EPAを支援してきている。DOEは、以前、ENERGY STARプロセスを通じて輝度設定に関する追加の指針、試験に用いるイメージ(像)の表示法、及びスレート/タブレットもしくはツーインワンコンピュータを試験時の携帯及びブルーツース機能(cellular and Bluetooth functionality)の構成を提供するには修正が必要になるかも知れないというコメントを受けたことがある。

EPAは、2014年3月12日にはENERGY STARコンピュータ仕様書バージョン6.1の草稿版を発行した。この仕様書草稿版に対応して、EPAは、関係各位から各種の文書での応答を受けており、現在仕様書の最終草稿版を作成するに当たりこれらのコメントを検討中である。これらは検討中であるが、EPA及びDOEは試験方法に関する改訂を提案しており、添付の試験方法バージョン6.1の草稿版に対するコメントを歓迎する。試験方法に関する提案した改訂版には仕様書に関する検討を省略していないし、かつ今後の改訂版(further edits)を関係各位のコメント及び継続する仕様書策定により保証されたものにする予定である。

本メモは、スレート/タブレット装置及びツーインワンコンピュータを含めてENERGY STARコンピュータの試験方法の草稿版に含まれる変更修正を規定する。以下にこの変更修正を要約する：

1. スレート/タブレットもしくはツーインワン1コンピュータは特に断りが無い限り、ノートブックと同じように扱う(**be configured**)ことと指針を提示する。
2. スレート/タブレットもしくはツーインワンコンピュータに対する初期設定適用(**default application**)に関して3垂直線ビデオ信号(**three vertical bar video signal**)を負荷する輝度要件(**luminance requirement**)を明確に提示する。
3. スレート/タブレットを最小200 cd/m<sup>2</sup>で試験する輝度要件を追加する。更に、ツーインワンコンピュータはノートブックに類似の90 cd/m<sup>2</sup>で試験すること。
4. スレート/タブレットもしくはツーインワンコンピュータに対する追加要件としてENERGY STAR試験イメージ(**test image**)を起動イメージ表示適用(**default image display application**)と共に取り扱うことを課する。

5. ノートブックコンピュータ及びツーインワンコンピュータは、少なくとも200 cd/m<sup>2</sup>の最も近い設定値(the closest setting)に対する表示明るさの設定(display brightness set)を有する短期アイドル試験(the Short Idle test)を繰り返すことを規定する、報告を必要とする追加の試験(additional reporting test)を追加する。更に、スレート/タブレットもしくはツーインワンコンピュータは、少なくとも90cd/m<sup>2</sup>の最も近い設定値(the closest setting)に対する表示明るさ設定(display brightness set)を有する短期アイドル試験(the Short Idle test)を繰り返すこと。
6. 試験のための携帯機能(cellular function)を無効する(disable)追加要件及び出荷時にBluetoothを捨てる(leave Bluetooth)ために言語を明確にすることを追加する。

更に、試験報告書式を更新し、スレート/タブレット装置及びツーインワンコンピュータを含めた。

以下にこれらの変更を要約する：

1. Bluetoothが初期設定により有効になるか否かを要求するフィールドを追加する
2. 異なる表示明るさ(90 cd/m<sup>2</sup> and 200 cd/m<sup>2</sup>)で短期アイドル消費電力測定のためのフィールドを追加する
3. 試験中は携帯機能を確実に無効にするためのフィールドを追加する

関係各位の参画は、有意義な仕様書及び試験方法の改訂版策定及びENERGY STARの全体として成功にとり極めて重要である。EPA及びDOEは、ENERGY STARコンピュータのバージョン6.1の試験方法に関する全ての議論に関する関係各位のコメントを歓迎する。コメントは全て、他に要請がなければ、ENERGY STARウェブサイトを送付すること。6月13日までに[computers@energystar.gov](mailto:computers@energystar.gov)に文書でコメントを提出すること。

仕様書に関する質問は、EPAのRobert Meyers ([Meyers.Robert@epa.gov](mailto:Meyers.Robert@epa.gov)又は202- 343-9923) もしくはICF InternationalのJohn Clinger ([John.Clinger@icfi.com](mailto:John.Clinger@icfi.com)又は215-967-9407) に直接連絡のこと。試験方法に関する質問は、Jeremy Dommu ([Jeremy.Dommu@ee.doe.gov](mailto:Jeremy.Dommu@ee.doe.gov)又は202-586- 9870)に連絡のこと。

ENERGY STARの継続的な支援に感謝する。

Robert Meyers

製品マネージャ、ENERGY STAR コンピュータ

以上